

# 昭和38年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

## 第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して  
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 へて申し込むこと。

## 第2部 選定題目講演会

つぎの日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
豪 雨	6月	4月25日	予 報 課：石原
乱 流	6月	4月25日	測 器 課：清水
山の気象	6月	4月25日	予 報 課：奥山
水収支	7月	5月25日	予 報 課：石原
気象学史と気象教育	8月	6月20日	気 象 研：渡辺
高層気象	9月		気 象 研：今井
生 気 候	9月		気 象 研：神山
気象災害	10月		気 象 研：渡辺
気象統計	10月		長期予報：朝倉
大気汚染	11月		気 象 研：神山
風のシンポジウム	11月		測 器 課：清水
台 風	12月		気 象 研：相原

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
	(昭和39年)		
太陽活動、放射	1月		長期予報：朝倉
気 候	1月		長期予報：朝倉
気象電気	1月		気 象 研：今井
レーダー気象	2月		気 象 研：今井
測 器	2月		測 器 課：清水
長期予報	2月		長期予報：朝倉
数値予報	2月		気 象 研：相原
融 雪	2月		予 報 課：石原
メソ気象	3月		気 象 研：渡辺
豪 雪	3月		気 象 研：相原
航空気象	3月		東京航気：上松

## 6月の例会

### 第7回山の気象シンポジウム

会期：昭和38年6月8日(土)13時00分より

会場：気象庁第1会議室

- 堀本義信(名大山岳部)：1961年3月剣岳合宿における雪崩について(20分)
- 菅厚省司(日大山岳部OB)：地上天気図と山の気象(20分)
- 原 邦穂、藤田欣也(日本歯科大山岳部)：今冬の薬師岳の気象(15分)
- 小岩清水(京王学園)：今冬の早池峰山の気象(20分)
- 東京理科大気象研究部：春の奥秩父の気象(30分)
- 山本三郎(鉛津測)：富士山の気象(第VI報)富士山の顕明度と気圧配置(20分)
- 吉川友章(気象協会)：御在所岳の強風の特異性(15分)
- 吉川友章(気象協会)：山の気象(第III報)(15分)

### 乱 流

会期：昭和38年6月18日(火)1時30分より

会場：気象庁第1会議室

- 横山長之(気象庁)：風速プロフィールを表わすパラメーター(15分)
- 相馬清二、高橋喜彦(気象研)：強風の乱流的構造(15分)
- 井上栄一(農技研)：植物群落内部の風について(15分)

- 塩谷正雄(鉄研)：風速および気温変動のスペクトル(続)(15分)
- 日野幹雄(電中研)：風波のスペクトラムと風の海面摩擦(15分)
- 鈴木弥幸(気象庁)：Moninの有限速度での拡散方程式の物理的解釈(15分)

特別講演：井上栄一(農技研)：大気乱流と作物生産——オーストラリアで考えたこと(30分)

司会者：塩谷正雄(鉄研)

### 豪 雨

会期：昭和38年6月28日(金)13時00分より

会場：気象庁予報部会議室

- 迎 正秋(気象庁)：水蒸気の移流と関東地方の豪雨との関係(スライド使用)(20分)
- 石原健二、他(気象庁)：大雨のワークシートについて(20分)

シンポジウム：豪雨予報に関するシンポジウム

話題提供者：未定

司 会 者：未定

## 8月例会の研究発表募集

主 題：気象学史と気象教育

会 期：8月23日

会 場：気象庁

申込先：東京都杉並区馬橋気象研究所

渡辺和夫 〆 切期日：6月20日